

3月15日発表の勤務取扱いに関する抗議と要求書第二段

株式会社アドバンテスト

2011年3月28日

代表取締役 兼 執行役員社長

松野 晴夫 殿

全日本金属情報機器労働組合

中央執行委員長 生熊 茂実

同 埼玉地方本部

執行委員長 江畑 秀治

同 東京地方本部

執行委員長 阿部 勝

同 アドバンテスト支部

執行委員長 町田 健次郎

2011年 3月18日(労務初 No. 10-020)の会社からの回答に対する意見および再度の団交要求をいたします。国内出張禁止を団交実施困難の理由のひとつにあげていますが、本件は、非常に大きな労働条件の問題であり、我々が丸の内本社に出向きますので、改めて団交を要求します。

我々JMIU アドバンテスト支部は、今回の緊急措置に全面的に反対している訳では無く、協力するに置いて多くの疑問点、そして、会社が社員に変則勤務を要求するならば、一方的な実施ではなく社員からの要求をどう組み入れていくのかが重要と考え、団交を申し込んでいることをご理解いただきたい。会社がいろいろ試行錯誤していることを理解しているからこそ団交が不可避と考えています。

1. 正式発表が3月15日の17時37分(定時後)なのに、この日から適用になっている。少なくともこの日は、7.75H勤務とすべき。事後通達ですべて実施されては無法状態同然である。
2. コアタイムを6時間に設定した理由は？
3. A勤務(午前6時から正午12時まで)を午前6時からとした理由は？
A勤務の前に45分の休憩時間を設けた理由は？ 又、B勤務(13時から19時)の後に45分の休憩を設けた理由は？
4. 半日有休を緊急変則勤務の間停止した理由は？

会社は、この約3年間余り、会社の状況を理解せよと、多くの要求を一方的に押し付け社員の生活を犠牲にしてきたあげく、緊急事態だからというだけで、再び、理由を説明もせずに、一方的に社員に要求を押し付けるしまつ。それこそ、従業員間の公平感やモチベーションを考慮しているなら、この異常事態を打開するためにも団交は必要と考えます。春闘の要求事項も含め、4月第一週での団交を要求します。

以上。